

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和4年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

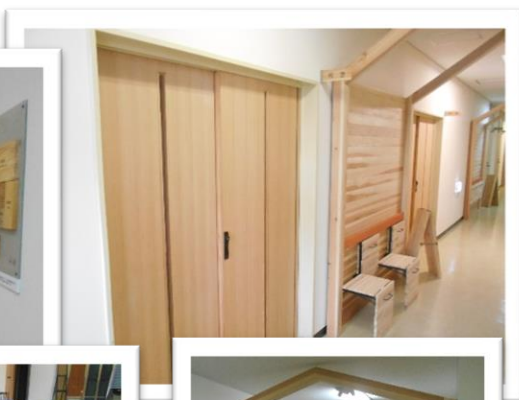
□ 事業内容

住之江会館の魅力向上事業

- ・ 住之江会館の会議室の扉、机、廊下のパンフレットラック等について、国産木材を使用した木の温かみを感じられるものにリニューアルした。

【事業費】11,851千円（うち譲与税11,851千円）

【実績】会議机41台、会議室扉、パンフレットラック、案内板等各種サイン、小屋



□ 事業スキーム

公募型プロポーザル事業

□ 工夫・留意した点

- ・ 廊下の椅子を引き出し式にすることで、スペースが広くとれる仕様とした。
- ・ パンフレットラックを設置することで、各種チラシ等が整理され見やすくなる仕様とした。
- ・ 各会議室の扉や案内板等各種サインを木製にし、廊下に小屋掛けすることで、木のぬくもりが感じられ、魅力あふれる空間となった。



□ 基礎データ

①令和4年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より